

## 校長先生との面接が始まりました

ある社会人の方が、面接について記事を書かれていましたので紹介します。

●「今日、再就職のために一次面接を受けました。面接で聞かれたことは、「自己PRとセールスポイント」、「自分が今まで仕事のうえで大変だったこと」についてでした。自己PRとセールスポイントは、うまく言えたのですが、今まで大変だったことについては、ネガティブなことしか言えず、そのあとどう頑張ったかを言い忘れてしまいました。面接担当者からは「ギリギリで一次面接合格でした、次で挽回してください」と言われました。自分はどんな質問でもうまく返す自信があったし、面接官の方により印象を与える自信をもっていましたが、自分の能力の低さを指摘されたようで、少し落ち込みました。次に二次面接がありますが、この会社に絶対合格したいので、よかったら面接への対策を教えてください。」

●ベストアンサー 「自分は、たとえ言葉につまったとしても、その会社に入りたいという熱意を伝えながら、自分の長所・短所を正直に言う方がよいと考えています。というのも、前の会社で面接を担当していたのである程度はわかっているからです。

面接でけっこう重要視するのは、「なぜ? なぜ? 攻撃」と「自分の長所・短所」、そして、「会社への質問はないですか?」と言われたときの返しです。「なぜうちの会社を選びましたか? なぜこの業界で働きたいですか? …、それはなぜですか?」って感じの質問は、会社や仕事についてどれだけ理解しているのかを試すものです。長所・短所は、どれだけ自分を客観的に見れているか、がポイントです。最後の「会社への質問はないですか?」に対して「ありません」は、会社に関心がないような印象を与えるので、何か言った方がいいと思います。どうしても思いつかなかった場合は、「今はまだ質

問はありませんが、入社して経験を積むうちに出てくると思いますので、そのときに聞こうと思います」と答えれば印象もよくなると思います。

面接には、「礼儀のよさと素直さ」、「基本の質問に答えられるか」、「とっさの質問に対するアドリブの力(そのときの瞬間の判断と表現)」が必要です。ぜひご自分のよさをアピールできるようがんばってください。」

●二人とも、社会人なのでこれまでに高校入試、大学入試、就職試験など数多くの面接を経験してきたうえでの考えだと思います。「礼儀のよさと素直さ」「基本の質問に答えられるか」「とっさの質問に対するアドリブの力」…身につけておいて損はありません。

高校の先生からは面接のポイントは3つと教えていただきました。

- ①相手の目を見て話すこと
- ②元気に、はきはきとしゃべること
- ③質問されたことにどれだけ的確な内容で答えられたか

そして、面接官の先生は、受験生のプラスポイントを見つけようとしてくれているそうで、例えば、「この高校についてよく知っているな」「オープンスクールに来てくれたんだな」「この学校に通っている先輩からいろいろ話を聞いたんだな」となるとプラスとなります。そして最大のテーマである、「なぜこの高校を選んだのか」「なぜ高校に進学しようとしているのか」では、「自分はこんな方向に興味を持っている。将来こんな仕事してみたいと思っている。こんな人になりたいと思っている…だから選んでいます。」と答えられれば説得力がありますよ、とのことでした。みなさんががんばってみましょう。

## ～ 6月 行事予定 ～

- 6月 1日(土)～2日(日) 地区春季総体①②  
4日(火) 耳鼻科検診  
8日(土) 地区春季総体③  
12日(水) 定期テスト仮発表(2週間前)  
13日(木) 生徒総会  
15日(土) 地区春季総体(水泳)  
17日(月) 眼科検診(※弁当必要)  
19日(水) 参観日(高校説明会), 定期テスト本発表(1週間前)  
26日(水)～28日(金) 定期テスト

